

年頭所感

新年明けましておめでとうございます

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

今年度から、新年射初め会は、装いを新たに、昨年の全国大会入賞者及び昇格・昇段者のお祝いを兼ねて、新しい年への門出の会となりました。

昨年は中学生が全国大会で女子団体優勝、個人五位、男子団体五位に、さらに両校ともに技能優秀校に選ばれたというすばらしい成績を残してくれました。



また、昇段昇格者は教士2名、錬士3名、おまけに九段と近年にない実績となりました。

来年度は、さらにすばらしい成績を残せるよう、この一年の皆さんの精進努力を期待しております。

新年射初め会

優勝：奈良支部

2位：橿原支部

3位：天理大学

年間表彰を受けられた皆さん



香芝中学校



天理市立南中学校



熊木さん(橿原中)

■臨時評議員会報告

理事長 西中 正

平成24年1月8日、射初会の後、臨時評議員会が開催されました。今年度は役員改選の年で、規約第9条に法り名誉会長、名誉副会長、会長、副会長を評議員会の決議により平成24年度から2年間の任期で会長：吉本清信、副会長：須田 三郎、竹村 邦夫、新司 正人、深田 紀美子、西中 正、土谷 尚敬(高体連)が再選されました。

吉本会長においては、平成23年11月から日弓連が公益財団法人への移行により新たに副会長となられ忙しい日々が続くと考えられ連合会行事、県内行事等への対応も考えて副理事長を置くことが承認されました。もう1点、平成23年度まで女子部として講習会、大会を実施おりましたが、平成24年度からは指導部、競技部にゆだね女子部をなくすことも承認されました。それに伴い、規約の一部改正も承認(第16条)されました。

話題は進み、会長推薦理事として、理事長：西中 正 副理事長：阪中 計夫 総務部長：藤岡 順 財務部長 眞鍋 征史 指導部長：西浦 範光 審査部長：明瀬 憲正 競技部長：長濱 正伸 強化部長：矢野 有吾が報告されました。地区推薦理事については、各支部で2月17日までに選出をお願いします。2月26日称号者研修会の後、新旧部長連絡会を予定しており、平成24年度の便覧の準備にかかる予定です。

奈良県弓道連盟は公益財団法人全日本弓道連盟の加盟団体となり、今後、総務部、財務部、審査部にいろいろ指導もあると考えられます。各部長だけでなく、称号、段位にとらわれず、会員の皆さん、弓道以外の能力をも発揮していただき、全員参画で連盟運営にご協力の程よろしくをお願いします。

■第236回地連審査報告

(審査部 土谷尚敬)

平成23年12月23日、奈良市弓道場にて第236回地連審査を実施しました。

結果は、2級7名、1級16名、初段16名、弐段13名、参段4名、そして四段は小野温美(橿原)、鈴木秀子(奈良)、岡野行光(奈良)、田中創一郎(郡山)、樫原充(郡山)の5名の皆さんです。合格された皆さんおめでとうございます。

審査後の審査員からは、「初・弐段のできが良くなかった」との意見が出ていました。各指導者の皆さんよろしくご指導をお願いします。

◆第30回記念全国高等学校弓道選抜大会近畿予選会
(高体連 高塚)

1月8日(日)大阪城弓道場において、近畿各府県の全国選抜団体予選で2位となった学校6校が集まり、近畿地区代表を決める予選会が行われました。奈良県からは女子五條高校、男子高田商業高校が出場し、**女子五條高校が全勝で全国選抜への出場権**を得ました。男子高田商業高校は4勝1敗で2位となり、直接対決を制した東洋大姫路高校が出場権を得ました。

よって、3月23～25日に行われる全国選抜大会団体戦には、女子は高田商業高校と五條高校の2校が、男子は高田商業高校の1校が出場します。

なお、厳しい寒さの中大会を運営いただきました大阪高体連の皆様に感謝いたします。

■寒稽古所感

(報告：齊藤頭一)

今年も正月気分が一段落した1月13日(金)から15日(日)の3日間、鴻池武道場で、柔・剣・弓道他合同の早朝寒稽古が開催された。今回は、第40回との事であるが、初日の弓道参加者は、総勢5人と近年にない少人数で、開会式は他武道参加者と較べ寂しい幕開けとなった。

反面、稽古は、寒さを感じる暇もないほど充実したものとなり、ストーブが付いてないのも分からず、気が付いたら終了時間となっていた。2日目、3日目と参加者は倍増し、閉会式には、2列で並ぶほどの人数となり、奈弓協の若さと元気をアピール出来た。

私は、奈良に来て3回目の寒稽古であるが、会長からお聞きしていた、厳寒の薄明かりの中、静まり返った射場に早朝6時を告げる梵鐘が幽かに響くのを始めて経験出来た。私事であるが、1月末に奈良を去ることになり、来年の今頃は、埼玉の射場で、奈良を思いながら寒稽古に励んでいることと思う。最後に、奈良市弓道協会の皆様には、大変お世話になり感謝申し上げます。

◆第16回 布目108中射会

(報告：松井成之)

平成8年から始まった大晦日恒例の108中射会ですが、前回の大雪とは打って変わっての好天に恵まれ、24名の参加者を得て開催されました。

いつものように矢振りによって立ち順を決め、9時10分に最初の矢が放たれ幸先良く的中となった。3人立ち1手座射でスタートし途中80中あたりから1本づつの射となり、最後の108中目は午後2時過ぎとなりめでたく完射となった。➤

▼成績はつぎのとおり。

108 中賞	吉本先生 (第2回目に続き2回目)
アシスト賞(107中目)	土屋さん
飛賞 100中目	斎藤さん
80中目	真鍋さん
50中目	宮口さん
1中目	真鍋さん

表彰式の後、年越しそばとおでんをいただいてしばし談笑、そのあとは的張りや道場の掃除、安土の整備を行ってすべて完了、うす暗くなりかけた山添村をあとに帰路についた。

■大和神社御弓始祭

(新司正人)

平成24年1月4日、新春恒例の御弓始祭が天下泰平、五穀豊穰を祈り、天理市柳本の大和神社(おおやまとじんじや)で行われました。当日は雨や雪の心配もありませんでした。時折強い風が吹き片肌を脱いだ体には寒さも一段と堪える天候のなか執行されました。

神社総代の世話人さん3名を先頭に我々弓道連盟の会員29名が行列を組み神社に参入、手水のあと拝殿で神拝を行い、射場へ移動。幕目、宮司の行射、続いて神社総代の3名の射、天理南中学の弓道部10名による演武、その後連盟会員、前弓5名(女子)、後弓5名(男子)による百々手式が執行されました。今年の百々手式は79cmの半的で行的中率は、前弓5割、後弓7割でした。

今年初めて参加された方や、ベテランは、諸役につき射手の介添えや行事の執行に重要な役割を果たし、鎌倉装束の厳かで優雅な行事になり、翌日の奈良新聞にも取り上げられた。近年行事の紹介等もいろいろなところでされており、観客数も増え、お宮の年明け行事の一つとして定着している。昭和30年から続くこの行事をいつまでも途切れることのないようやっていきたいと思っています。皆さまのご協力お願いいたします。

